

9	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	15108004	動物インフルエンザウイルスの生態解明と新型ウイルス対策	喜田 宏 (北海道大学・大学院獣医学研究科・教授)	A

(意見等)

本研究による世界規模での疫学調査により、膨大なウイルス株の系統保存が行われたことは特に高く評価される。また当初計画されていた、インフルエンザウイルスの病原性に関与する因子、インフルエンザ脳症の発症メカニズム、インフルエンザのベッドサイド迅速診断法の開発等もインフルエンザワクチンや抗インフルエンザ薬の開発に関する研究の部分を除いて、順当に成果を上げている。

10	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	15109001	ヘテロ元素含有高次構造天然物の独創的合成法の開発	福山 透 (東京大学・大学院薬学系研究科・教授)	A+

(意見等)

卓越した研究をこれまでに予定よりもはるかに順調に展開し、優れた研究業績をあげてきている。2004年にはアメリカ化学会から「ACS Award for Creative Work in Synthetic Organic Chemistry」を受賞した。研究代表者がこれまでに独自に開発した基盤反応と独創性の高い合成方法論を活用することにより、今後の研究も順調に行われ、当初の研究目標は十分に達成されるものと思われ、研究の更なる発展とより一層の推進が期待される。